

科目名	社会的養護						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	田中 浩二	関連する資格	保育士資格 必修				
<b>授業概要</b> 様々な環境・状態にある子どもや家庭の現状を理解するとともに、保育者として子どもと関わることの意味・意義について考える							
<b>到達目標</b> 1. 子どもの権利保障を理解する 2. 社会的養護の体系や児童福祉施設などの役割について理解する			<b>成績評価方法</b> テスト及び授業態度をもって評価する				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 社会的養護の概念							
2) 社会的養護の考え方1（養育・保育・養護）							
3) 社会的養護の考え方2（療育・特別な支援が必要な子ども）							
4) 社会的養護と子どもの権利				子どもの権利について考える			
5) 現代の子どもを取り巻く状況（子どもの数など）							

6) 現代の家庭の状況（婚姻・離婚・子育てなど）	現代の子育て家庭の課題等を考えるワーク
7) 子どもの発達（身体的・精神的発達）	
8) 子どもの社会性の発達	
9) 児童虐待の概念	
10) 児童虐待の現状	
11) 児童虐待の実態	
12) 児童虐待への対応	児童虐待の考察ワーク
13) 障害児の現状と障害児への社会的養護	
14) 障害児の地域生活支援	
15) 社会的養護を支える行財政	
授業外学習	
<p>授業毎に翌週分のプリントを配布しますので、事前に熟読するとともに空欄に語句等を埋めておいてください。</p> <p>授業の感想や質問などを積極的に出席カードに記述して下さい。</p>	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
随時プリントを配布	社会的養護内容
備考	
社会人（大人）、保育者としての意識・振る舞いを心掛けてください	